

〔農林水産省〕

# 奈良県農林業の活性化に かかる支援の充実



イチゴの高設栽培



手入れされた人工林



平城遷都1300年

平成21年 11月  
奈 良 県

# 奈良県農業の活性化に向けた支援の充実について

平成21年11月

奈良県

## 1. 特色ある地域農業の振興について

本県農業は、小規模な稲作兼業農家等が9割を占める一方、施設野菜や花き、果樹、茶、畜産が中心の都市近郊型農業が行われている。しかし、近年、農産物価格の低迷と経営コストの増加により、農業経営が厳しい環境下にあるため、マーケティング戦略を重視した農業の振興に取り組んでいる。

### (1) 経営安定に対する支援の充実について

農業経営の継続が困難となっており、特に茶などの品目について、将来展望を持って農業が維持できるように、新たな経営安定支援制度を早期に創設されたい。

### (2) 「戸別所得補償制度」の早期実現と公平な制度設計について

「戸別所得補償制度」を早期に実現されたい。なお、制度設計にあたっては米の生産数量目標の都道府県への配分について、公平性・平等性の観点から水田面積に応じた全国一律の基準とされたい。

### (3) 地域農業の振興に資する一括交付金制度の早期実現について

全国的に見て小規模農業県であっても特色ある農業施策の展開が可能となるよう、地方の幅広い裁量を認めた一括交付金制度を早期に実現されたい。

## 2. 地域振興と農業振興のバランスがとれた土地利用について

ゾーニング規制の方式を基本とする、農業的利用と非農業的利用を一体化した新たな土地利用計画制度を早期に創設されたい。

# 奈良県農業の現状について

## 1 品目別農業産出額(H19)

農業産出額は468億円と、全国44位であるが、野菜、果実、花きで50%程度を占め、少量多品目、都市近郊型園芸産地を形成

|                 |           |       |        |                |  |                |        |                |       |        |               |       |               |          |
|-----------------|-----------|-------|--------|----------------|--|----------------|--------|----------------|-------|--------|---------------|-------|---------------|----------|
| 野菜 126億円(26.9%) |           |       |        | 米 110億円(23.5%) |  | 果実 77億円(16.5%) |        | 畜産 74億円(15.8%) |       |        | 花き 45億円(9.6%) |       | 荒茶 24億円(5.1%) | その他 12億円 |
| いちご 27          | ほうれんそう 17 | なす 14 | その他 68 |                |  | かき 56          | その他 21 | 生乳 31          | 鶏卵 20 | 肉用牛 10 | その他 13        | きく 13 | その他 32        |          |

## 2 全国から見た奈良の農産物

| 品 目                                                                                                        | 全国順位  | 産 地            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------|
| 柿                                                                                                          | 第 2 位 | 五條市、下市町等       |
| 茶                                                                                                          | 第 6 位 | 奈良市、山添村等       |
| いちご                                                                                                        | 第14位  | 天理市、大和郡山市、奈良市等 |
| 切り花きく                                                                                                      | 第 7 位 | 平群町、葛城市        |
| <b>&lt;全国1位の品目&gt;</b><br>・ダリア球根(産地:宇陀市、山添村) ・二輪ギク(産地:葛城市) ・小ギク(夏秋期)(産地:平群町)                               |       |                |
| <b>&lt;ブランド化に向けた品目(例)&gt;</b><br>・奈良の柿・大和茶・大和野菜(大和まな等21品目) ・イチゴ「アスカルビー」 ・大和畜産ブランド(大和牛、大和肉鶏、ヤマトボーク、大和なでしこ卵) |       |                |

## 3 H20転作率

|      | 水田面積 (ha) | 生産目標面積(換算) (ha) | 転作率 (試算) |
|------|-----------|-----------------|----------|
| 全国平均 | 2,516,000 | 1,540,000       | 38.8%    |
| 奈良県  | 21,600    | 8,500           | 48.2%    |

転作率が48.2%と全国2位であり、全国平均38.8%より約9ポイント上回っている。

## 4 茶業経営のモデル年次別経緯(10a当たり試算)

| 年 次     |            | H14～H20 平均 | H21    |
|---------|------------|------------|--------|
| 項 目     |            |            |        |
| 粗収益(千円) |            | 553千円      | 406千円  |
|         | 出荷数量(kg)   | 520kg      | 520kg  |
|         | 平均単価(円/kg) | 1,063円     | 780円   |
| 経営費(千円) |            | 433千円      | 458千円  |
| 所 得(千円) |            | 120千円      | －52千円  |
| 所得率(%)  |            | 21.7%      | －11.9% |

※経営費には家族労働費を含まず  
減価償却費は全施設・機械等を新調したと仮定

本県茶業経営は、価格低迷と燃料等のコスト増加により、H21には所得がマイナス

## 5 農家の状況(H17)

|     | 総農家        | 兼業農家等 (兼業・自給的農家) | 兼業農家等／総農家の割合 | 農家1戸当たり経営耕地面積 |
|-----|------------|------------------|--------------|---------------|
| 全 国 | 2,848,166戸 | 2,405,008戸       | 84.4%        | 1.27ha        |
| 近 畿 | 282,296戸   | 248,098戸         | 87.9%        | 0.63ha        |
| 奈良県 | 30,597戸    | 27,646戸          | 90.4%        | 0.51ha        |

奈良県の総農家は約3万戸。そのうち兼業農家等が2万7千戸余りと90%を占め、全国に比べると小規模農家が多数を占める。

## 6 土地利用の状況

| 項 目       |           | 奈良県                | 全国順位 | 全国平均                 |
|-----------|-----------|--------------------|------|----------------------|
| 可住地面積     |           | 851km <sup>2</sup> | 47位  | 2,582km <sup>2</sup> |
| 都市計画区域面積  |           | 115,859ha          | 33位  | 212,393ha            |
|           | 市街化区域面積割合 | 18.1%              | 40位  | 27.8%                |
|           | 工業系用途地域面積 | 11.2%              | 47位  | 24.4%                |
| 耕地面積(H21) |           | 226km <sup>2</sup> | 44位  | 981km <sup>2</sup>   |

# 個別提案

## 1. 第二十津川紀の川土地改良事業及び国営農業用水再編対策事業 (大和紀伊平野地区)の円滑な推進

当初計画どおりの事業費、事業量、事業工期(平成25年度)内で完了できるよう、事業管理を徹底していただきたい。

### 事業の進捗状況

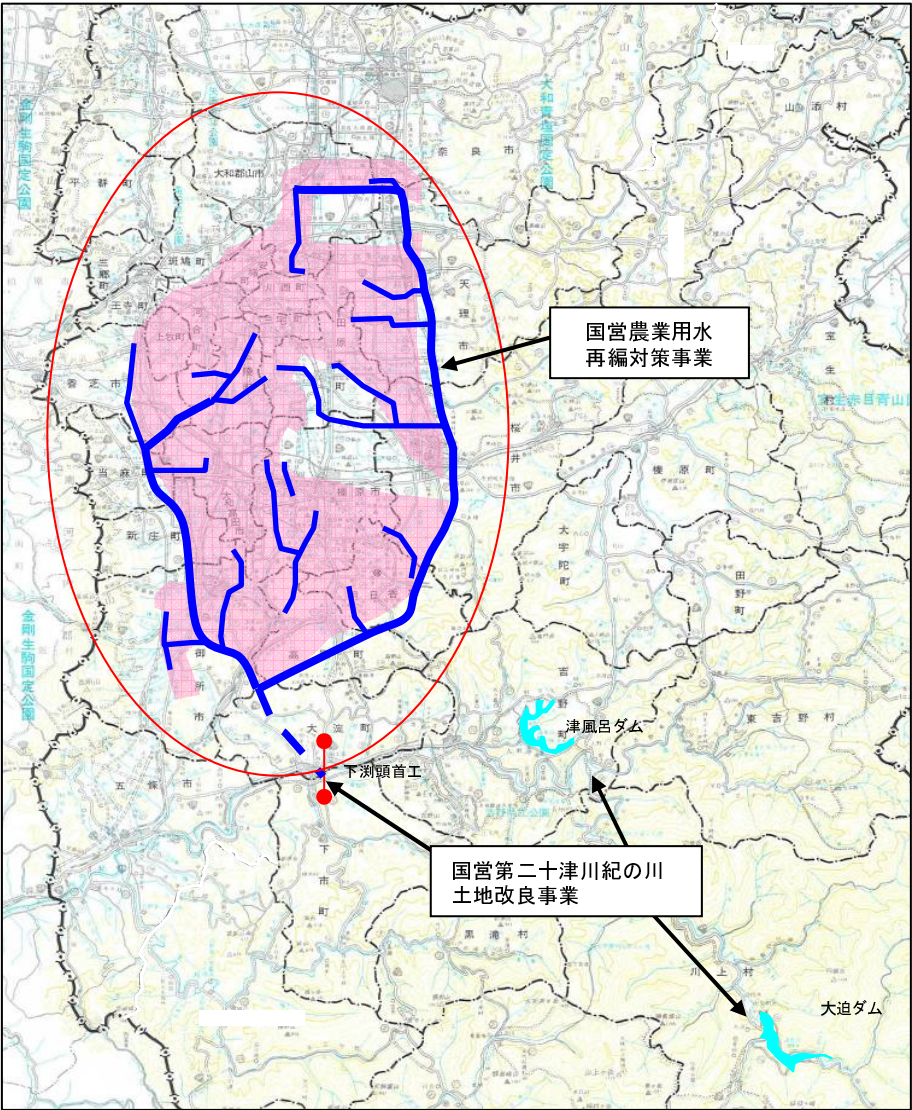
| 事業名              | 地区名      | 開始   | 完了  | 総事業費  | H20<br>まで | H21    |
|------------------|----------|------|-----|-------|-----------|--------|
| 国営第二十津川紀の川土地改良事業 | 第二十津川紀の川 | H11  | H25 | 212億円 | 154億円     | 9億円    |
|                  |          | 進捗率  |     | —     | 73%       | 77%    |
| 国営農業用水再編対策事業     | 大和紀伊平野   | H13  | H25 | 770億円 | 429億円     | 87.7億円 |
|                  |          | 奈良県分 |     | 440億円 | 251億円     | 47.9億円 |
|                  |          | 進捗率  |     | —     | 57%       | 68%    |



大迫ダム



用水管の改修状況



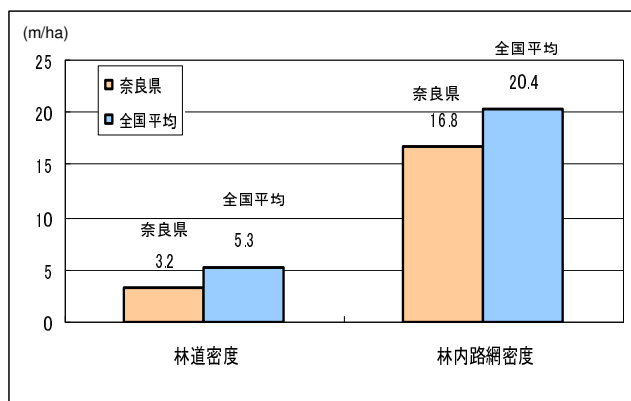
## 2. 林業・木材産業の振興に向けた適正な森林整備のための路網整備の推進

遅れている路網整備を緊急に推進するため、国の基準を緩和し、県の作業道基準による作業道開設についても、定額助成対象となるようにしていただきたい。



整備された作業道による木材の搬出

### ○ 林内路網の開設実績



地形急峻等から、林内の路網整備は全国平均を下回っている状況

### ○ 林内路網の開設実績 (単位:m)

| 年度   | H15    | H16    | H17    | H18    | H19    |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 林 道  | 7,134  | 3,993  | 4,157  | 4,437  | 2,749  |
| 作業道等 | 14,802 | 17,059 | 16,193 | 14,428 | 19,961 |
| 計    | 21,936 | 21,052 | 20,350 | 18,865 | 22,710 |

### (参考)森林資源等の概要

| 区分       | 奈良県                  | 全国平均                  | 順位  |
|----------|----------------------|-----------------------|-----|
| 森林面積     | 284千ha               | 534千ha                | 32位 |
| 民有林面積    | 271千ha               | 370千ha                | 28位 |
| 民有林蓄積    | 69,056m <sup>3</sup> | 71,350千m <sup>3</sup> | 23位 |
| 1ha当たり蓄積 | 255m <sup>3</sup>    | 193m <sup>3</sup>     | 8位  |
| 人工林面積    | 168千ha               | 170千ha                | 22位 |
| 人工林率     | 62%                  | 46%                   | 7位  |
| 林業産出額    | 47億円                 | 94億円                  | 28位 |
| 木材生産額    | 40億円                 | 48億円                  | 20位 |
| 特用林産物生産額 | 7億円                  | 46億円                  | 37位 |

奈良県の森林面積は284千haで、そのうち民有林が95%を占める。  
民有林面積の62%がスギやヒノキなどの人工林である。人工林の75%が手入れの必要な3～12齢級(15年生～60年生)で、そのうち、3割で間伐などの手入れが遅れている状況

(参考) ○奈良県:平成21年4月1日現在の数値 ○全国平均、順位:平成19年3月31日現在の数値  
(注)林業産出額は平成19年度の数値)

# 奈良県の地域別農林業の概要

【大和平野北部地域】  
奈良市、天理市  
大和郡山市

水田での野菜を中心とした  
施設園芸が盛ん  
(イチゴ、トマト)

【大和平野東部地域】  
【大和高原北部地域】  
奈良市東部・山添村

国営造成農地を中心に大規模  
な茶産地を形成(茶)

〔荒茶生産量: 全国6位〕

国営総合農地開発  
大和高原南部地区

大和高原地域

【大和高原南部地域】  
宇陀市・曽爾村・御杖村

冷涼な気候を活かした農業  
を展開。高原野菜や畜産が  
盛ん  
(ホウレンソウ・ミズナ・肉用  
牛・酪農)

〔ダリア球根: 全国1位〕

国営総合農地開発  
五条吉野地区

五條吉野地域

【五條吉野南部地域】

全国屈指の林業地帯  
(スギ・ヒノキ)

【大和平野北西部地域】  
平群町

県営造成農地で、山麓の気候  
を活かした花き産地を形成  
(小ギク・バラ)

〔小ギク生産量: 全国2位〕

【大和平野中部地域】  
大和高田市・橿原市・桜井市  
田原本町・広陵町他

水田を活用した、軟弱野菜や果菜  
類が盛ん  
(コマツナ・ネギ・イチゴ・ナス)

【大和平野南西部地域】  
葛城市・御所市

山麓部では、酪農やカキ、  
輪ギクの花き産地を形成、  
平坦部では軟弱野菜の  
生産が盛ん  
(輪ギク・二輪ギク・酪農・ネ  
ギ・カキ)

〔二輪ギク生産量: 全国1位〕

【五條吉野北西部地域】  
五條市

全国有数の果樹産地を  
形成(カキ・ウメ)

〔柿生産量: 全国2位〕

| 凡 例  |       |       |
|------|-------|-------|
| いちご  | やまのいも | しいたけ  |
| トマト  | かき    | キク    |
| きゅうり | みかん   | バラ    |
| なす   | ぶどう   | 鉢もの   |
| いちじく | なし    | その他花き |
| だいこん | うめ    | 切り枝   |
| 軟弱野菜 | 茶     | 花木類   |
| ねぎ   | さといも  | 小麦    |
| はくさい | すいか   | 乳牛    |
| 肉牛   | 肉鶏    | 採卵鶏   |
| 豚    | 鮎     | あまご   |
| 金魚   | 木材    |       |